

大阪港における取組状況

令和7年1月31日
大阪港湾局

1. 集貨の取組み

阪神国際港湾(株)や国、大阪府市で連携し、貨物誘致や航路誘致につながる各種インセンティブ策や国内外での荷主企業等へのポートセールス活動を実施

集貨事業の推進



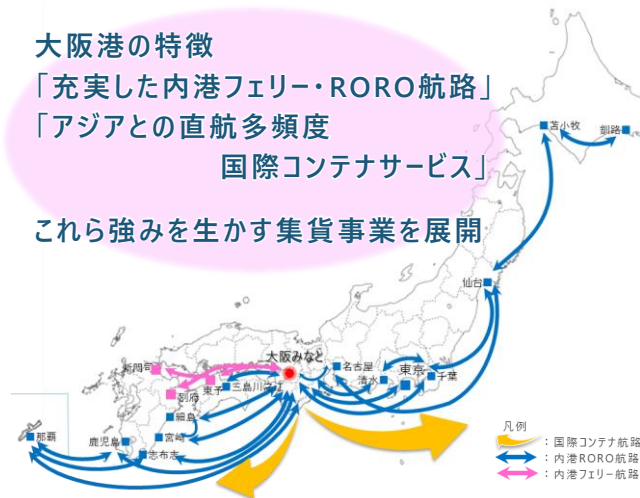
R6.6.20 大阪みなとセミナー（都城会場）



R6.8.21 大阪みなとセミナー（東京会場）

大阪港の特徴
「充実した内港フェリー・RORO航路」
「アジアとの直航多頻度
国際コンテナサービス」

これら強みを生かす集貨事業を展開



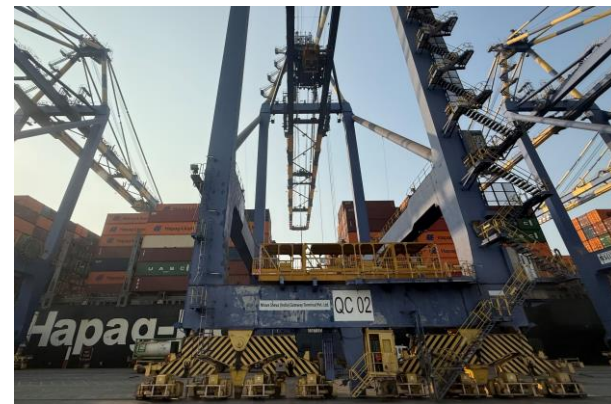
東南アジア等へのポートセールス



R6.1.22 R6年度 大阪港セミナー-inムンバイ



大阪港湾局によるトップセールス（JNPA）



ジャワハルラル・ネルー港の視察

2. 創貨の取組み

大阪港からの農林水産物・食品等の輸出促進を図るため、関係機関の協力のもと、食の輸出セミナー＆商談会の開催、国内外展示会への出展、インセンティブ策を実施

第8回 大阪港食の輸出商談会



令和6年10月 各商談ブース（会場：新大阪）



令和6年10月 展示スペース

商談会参加者数及び商談数（オンライン、会場）

国内サプライヤー 107社、国内地域商社 15社、
海外バイヤー 12社による、169商談を実施

〔海外バイヤーの国・地域、希望品目の例〕

香港、フィリピン、マカオ、韓国、ベトナム、中国、台湾、
シンガポール、マレーシア、アメリカ、サウジアラビア、ドバイ
加工食品、菓子、飲料、お酒、調味料、水産物、青果等

国内外展示会への出展



海外展示会（令和元年5月 タイ）



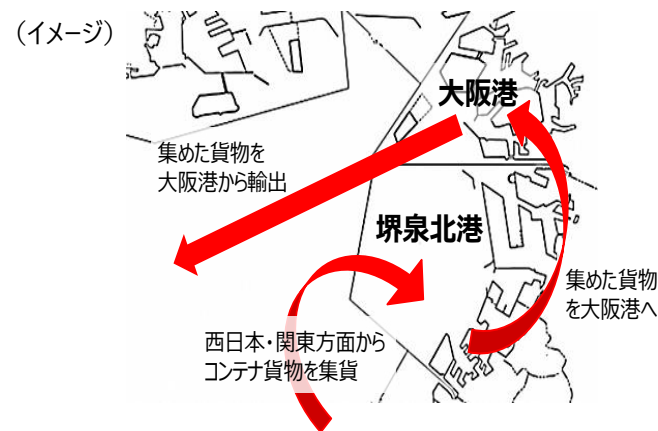
国内展示会（令和6年6月 東京）



ブース展示品の一例

大阪“みなと”食輸出促進事業

府営港湾エリアに立地する冷蔵倉庫（堺青果センター等）を活用し、大阪港から輸出を行う事業で、前年度からの増加分を対象



全国2港目の“産直港湾”「堺泉北港」と連携

（国の支援を受けて堺青果センターのエアージェルターを整備 R5.3末完成）



産直港湾とは 農林水産物・食品の輸出産地による海外への直航サービスを活用した輸出を促進するための港湾

3. 競争力強化の取組み

交差点の立体交差化、道路・橋梁の拡幅、コンテナターミナルの拡張等により物流機能を強化

舞洲東交差点立体交差化

〔令和6年12月 完成済〕

〔南から北方向〕



〔東から西方向〕



幹線道路(4車線→6車線)



〔夢洲 令和6年12月 6車線化済〕



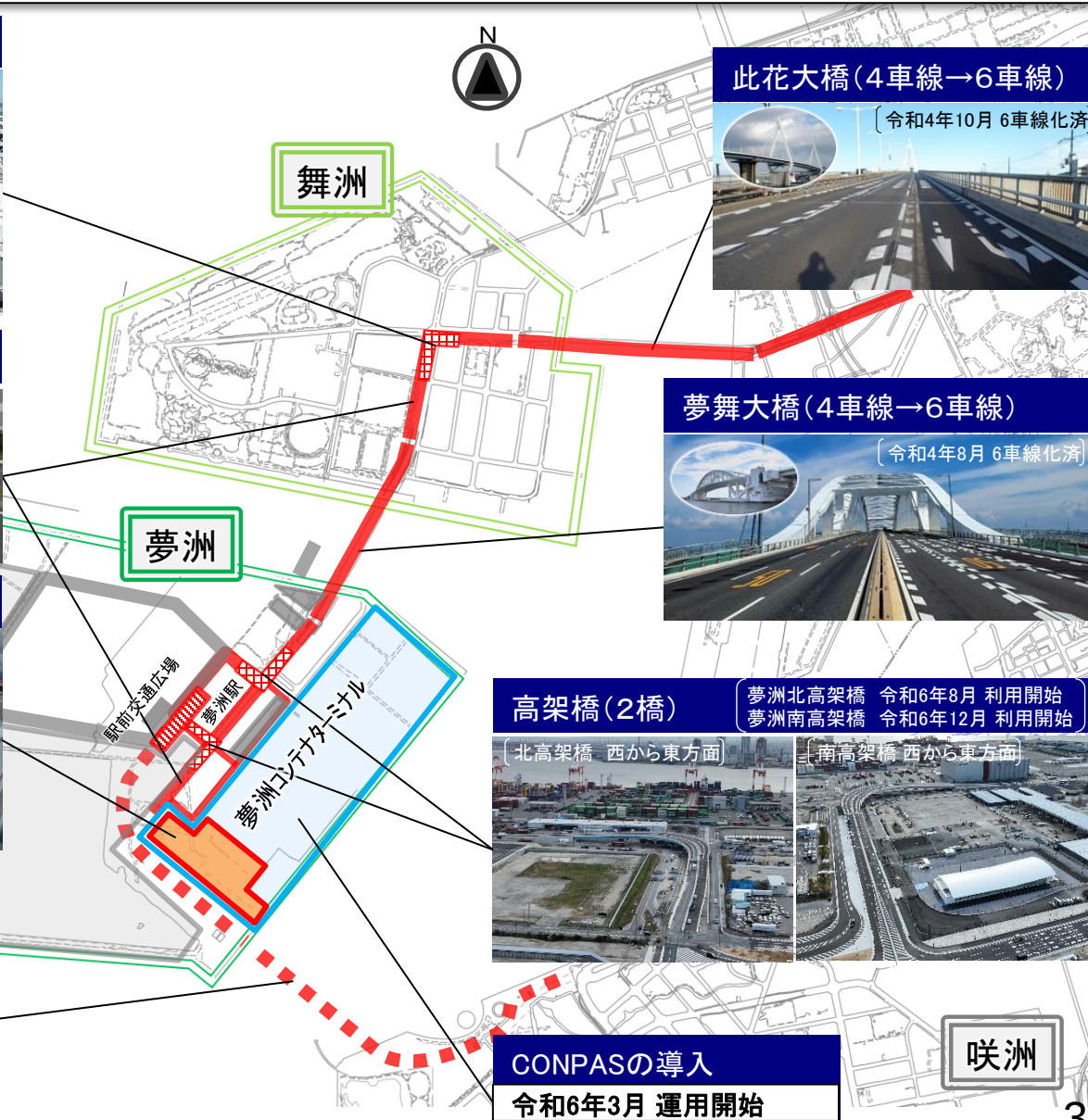
〔舞洲 令和4年7月 6車線化済〕

荷捌き地の拡張(ゲート増設) 〔令和7年2月 運用開始予定〕



鉄道(南ルート)

〔令和7年1月 開業済〕



此花大橋(4車線→6車線)

〔令和4年10月 6車線化済〕



夢舞大橋(4車線→6車線)

〔令和4年8月 6車線化済〕



高架橋(2橋)

夢洲北高架橋 令和6年8月 利用開始
夢洲南高架橋 令和6年12月 利用開始

〔北高架橋 西から東方面〕



〔南高架橋 西から東方面〕



CONPASの導入

令和6年3月 運用開始

咲洲

4. コンテナターミナル近傍における物流拠点の形成に向けて

- ・ 夢洲コンテナターミナル近傍の物流用地を活用し物流施設等の立地促進・集積を図る
- ・ 老朽化した在来地区の上屋や倉庫等の機能を移転し物流用地等を創出

